

「多摩地域市民活動公募助成」申請書【記入例】

2017年 3月 1日

真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成事務局 御中

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん ...		法人の場合、登記された代表者印を押印下さい。任意団体の場合は認印で結構です。
団体名	特定非営利活動法人 ◇◇会		
ふりがな	まるやま まるこ		
代表者名	役職名: 代表理事	ご芳名: ○山 ○子	

※ 団体が法人の場合は、法人格からご記入ください。

■申請プロジェクトの名称

プロジェクトの名称は、今回の申請プロジェクトの「顔」とも言えます。分かりやすく、簡潔な表現で、プロジェクトの名称を書き込んで下さい。

■連絡先

団体の事務所 所在地(連絡先) ※個人宅の場合、必ず「気付」等の明記をお願いします。	〒	
	TEL	FAX
	e-mail	
	URL(ホームページを開設している場合) http://	
この事業の連絡先 (上記と異なる場合)	〒	
担当者 ※e-mail アドレスはできるだけご記入下さい	氏名	
	TEL	携帯電話
	FAX	e-mail
連絡可能な曜日	月 火 水 木 金 土 日	連絡可能な時間帯 午前 10 時～午後 3 時

■提出書類 ※当申請書に添付している提出書類(参考資料)に○をつけてください。封筒を除き、書類がない場合は提出不要です。

<input type="radio"/>	申請書(本様式。2部)※ホッチキスでとめないでください。
<input type="radio"/>	組織の規約を示すもの(「会則」や「定款」など。2部)
<input type="radio"/>	直近の活動計画書(予算書を含む)、活動報告書(決算書を含む) ※2組。団体の様式のままで結構です
<input type="radio"/>	団体の概要がわかるパンフレットやニュースレター、チラシ類。2セット。
<input type="radio"/>	団体責任者・活動担当者の略歴。2通。
<input type="radio"/>	長3封筒(120ミリ×235ミリの大きさのもの2通。申請団体の連絡先を表書きしたもの。)★必須★

■ヒアリング希望時間(I型のみ) ※少なくとも第3希望までご記入がないとヒアリングができず助成できない場合があります。ご注意ください。

右表の()内に、第1希望を○、第2希望を○、第3希望を☆、第4希望を△として必ず記入下さい。	4月 9日 (日)	()~12 時	()13~15 時	(○)15~18 時	(☆)18 時~
	4月10日 (月)	(◎)~12 時	()13~15 時	()15~18 時	()18 時~
	4月11日 (火)	(△)~12 時	()13~15 時	()15~17 時	

- [記入上の注意]
- 添付書類のうち、封筒とパンフレットやチラシ類を除く書類は「A4サイズ」にして下さい。提出部数は2部(コピー可)です。
 - 「別紙参照」などとせず、必要な情報は様式中にすべてご記入ください。各記入欄の大きさは変更しても構いません。
 - 提出された申請書、添付資料は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

※情報の取り扱いについて: 提出いただいた資料に記載された個人情報、真如苑・公募助成事務局においてのみ管理し、助成事業の運営、審査、団体への連絡の用途以外には、一切、使用することはありません。

[事務局欄]	受付日	/	II 型一次	/	二次	/	I 型	/
--------	-----	---	--------	---	----	---	-----	---

1. 申請金額

申請タイプ	助成申請金額(A)	総支出予算額(B)	助成比率(A/B×100)
I型・II型	240,000円	270,000円	89%

※申請金額の上限は50万円。助成比率は、I型(申請額25万円以下)は、プロジェクト総支出予算額の9割(自己負担1割以上)、II型(25万円超)は総支出予算額の8割(自己負担2割以上)を上限とします。

2. 団体の概要

団体名			
代表者氏名	主な活動地域	東京都	市・町・村(多摩地区内であること)
設立年月	西暦	年	月 (法人の場合 任意団体の設立年月 西暦 年 月)
団体が実現したい目標・ミッション			
団体設立の経緯(誕生の物語など)	WORD版を利用される場合は、幅が狭ければ、上下の枠を狭めて、この枠を大きくしても結構です。これは他の欄でも同様です。		
主な活動内容(箇条書きで簡潔に)	団体の活動内容を記入してください。他の欄も含めて、「別紙参照」などはせず、各欄の中に具体的に記入ください。		
団体の規模 (予算・決算額、会員数等) ※「事業収入」には受託収入も含まれます。 ※「当年度経費」は当年度に支出した人件費、管理費、事業費などの総額です。 ※今年度の会員・職員実績は、直近の月末実績をご記入下さい。 ※「会員数」には賛助会員なども含まれます。		今年度予算(年月～年月)	前年度決算(年月～年月)
	会費	A 円	円
	寄付金	B 円	円
	補助・助成金	C 円	円
	事業収入	D 円	円
	その他	E 円	
	前年度繰入金	F 円	円
	収入合計	A+B+C+D+E+F 円	円
	当年度経費	G 円	円
	次年度繰越金	H 円	円
支出合計	G+H 円	円	
会員数	人	人	
職員数	有給 人、無給 人	有給 人、無給 人	
過去の申請実績	07年度分 I型・II型 08年度分 I型・II型・児童 09年度分 I型・II型・児童 10年度分 I型・II型・児童 ※年度は事業実施年度 ※該当分に○印を 11年度分 I型・II型・児童 12年度分 I型・II型・児童 13年度分 I型・II型 14年度分 I型・II型 15年度分 I型・II型 16年度分 I型・II型 助成申請は初めて		

「無給」には交通費などの実費程度の謝礼を得るボランティアスタッフも含まれます。

3. プロジェクトの概要

プロジェクトの名称	申請プロジェクトの名称を記入してください
プロジェクトの概要	プロジェクトの内容を、分かりやすく記述してください。

初めての場合、こちら○をして下さい。

※ 上記2欄の記載情報は、本助成プログラムの広報(真如苑のホームページ等)で使用します。

4. プロジェクトの詳細

①プロジェクトの社会的な背景、対象ニーズ、動機・目的について

プロジェクトをとりまく社会的な背景 プロジェクトの対象とニーズ分析	プロジェクトに関する社会情勢、社会的な背景などと、そこで、どのような対象に関わっていくのか、また、そこで必要とされていることについて記入してください。
プロジェクトを始める動機・目的について	プロジェクトを実施するきっかけや由来、動機。そして、なぜプロジェクトを実施するか、プロジェクトの必要性と目的を記入してください。

②プロジェクトの詳細

プロジェクトの具体的な内容	何を、誰が、(誰とともに)、いつ、どこで、どうやって実施するか、具体的にプロジェクトの内容を記入してください。 (特に具体的な記述を求めます。「別紙参照」などとされないようお願いします)
地域、社会への効果 (過去に助成を受けられた場合は、その成果も記してください)	プロジェクトを通して実現する効果、実現が期待される成果や社会の変化などを記入してください。
目標数値 ※プロジェクトで達成したい目標(成果)を数値や状態で示してください	プロジェクトに関する具体的な数値目標を設定してください。 *%以上 (以下)、**件数以上 (以下)、**人以上 (以下) 利用者 1 人当たり**件以上、週*日以上、*回以上、**万円以上 など
プロジェクトのアピールポイント (課題解決への工夫や、参加者増への工夫など)	プロジェクトを実施する上での工夫、アピールしたいポイントを記入してください。

5. 実施スケジュール(予定。2017年度分) ※ たとえば、以下のようにご記入ください。

実施細目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
勉強会			実施	実施								
広報活動				—————→								
イベント							実施					

6. 主な協力団体・協力者(特になければ、記入は不要です)

団体名、氏名、役職など	プロジェクト実施上の役割	本申請書作成時点での協力取り付け状況
△△小学校	会場無償提供	校長先生の了解済み
〇〇社会福祉協議会	後援	前回は名義借用。今回も打診済み。

※プロジェクト実施上、協力を得られる外部団体や外部協力者の状況について記入してください。

7. プロジェクトの継続性、発展性について

助成終了後の展開 予定について	プロジェクト助成期間終了後の活動の展開について、また、対象をとりまく現代社会に対して、今後どのような活動を考えているかなどについて、記入してください。
--------------------	---

8. 申請プロジェクトの収支計画

助成申請額は万円単位とし、千円単位以下の端数が出る場合は自己資金などでカバーして下さい。

■収入

種類	摘要	項目の内訳・算出根拠	金額
本助成金 ※1			たとえば 240,000円
自己資金(他の助成金 などを当てるのも可)	団体の会計より		
申請プロジェクトへの 参加費など	セミナー参加費	3回 @500円×20人	30,000円
収入総額		★この合計は支出総額と同じになります ⇒	たとえば 270,000円

■支出

科目※2	摘要	項目の内訳・算出根拠	金額
募集要項の2ページの 表に示す科目を使用し てください。 たとえば ①人件費 ③通信運搬料 ④印刷製本費 ⑥消耗備品費 ⑧会議費 ⑩諸謝金 ※人件費は支出総額の25%を 上回ってはいけません。	科目の内容を記入 してください。 スタッフ人件費 案内発送費 印刷費 消耗備品費 会議室使用料 講師謝金	算出の根拠を書き込んでください。 1日6,500円×週2日×5週間 切手代 82円×300か所、封筒400円 チラシ(2万円)、報告書(5万円) デジタルビデオカメラ1機 準備5回1,000円、講座3回5,000円 3人一人20,000円	科目、摘要、項目 の算出根拠にあ わせて、金額を書 き込んで下さい。 65,000円 25,000円 70,000円 30,000円 20,000円 60,000円
支出総額		★この合計は収入総額と同じになります ⇒ B	たとえば 270,000円
		助成率(A / B×100) ※3	89 %

※1: 申請金額の上限は50万円ですが、I型:25万円以下とII型:25万円超で、助成率(自己負担率)が異なります。

※2: 申請プロジェクト収支計画の支出科目は、募集要項(2頁)の科目を使用してください。

※3: 助成率は、I型(申請額25万円以下)は、プロジェクト総支出予算額の9割(自己負担1割以上)、II型(25万円超)は総支出予算額の8割(自己負担2割以上)を上限とします。

申請書の提出締め切り

・I型、II型とも、2017年3月27日(月)までに、事務局までご郵送ください(必着)。

多摩地域を元気にする、ユニークなプロジェクトをお待ちしております。